

23年3月策定計画及び25年3月改訂計画の「めざすべき目標像」等

< 23年3月策定の計画 >

めざすべき目標像

○未来に向けてたくましく生きる“なにわっ子”の育成

本市の教育を通じて、「変化する社会でたくましく生きる子」、「すこやかで心豊かな子」、「郷土『大阪』を愛する子」としての「なにわっ子」の育成をめざします。

○パートナーシップに基づく“自律と協働の生涯学習社会づくり”の推進

「『市民力』をはぐくむ生涯学習の推進」、地域教育力の向上に向けた「『まなび』を基本としたコミュニティづくり」、そして、地域資源の再発見と魅力の発信を支える「『まなび』のネットワークづくり」を進めることにより、市民一人ひとりの自己実現や、まちづくりにつながる自主的・主体的な循環型の学習活動を支援し、「自律と協働の生涯学習社会」づくりをめざします。

基本となる考え方

この計画では、基本となる考え方として、“ええとこ”のばそ 大阪の教育 を掲げることとします。

「“ええとこ”のばそ」には、

大阪で学び、育つ子どもたちの“ええとこ”をはぐくむとともに、大阪に暮らし、活動する人々の“ええとこ”をつなげる。

そのことを通して、“大阪はええとこや”とみんなが誇りを持って言えるまちになっていく。

という3つの考えがこめられています。

学校園・家庭・市民・地域団体・NPO・企業・行政などが、一人ひとりの子どもの“ええとこ”を認めてはぐくむとともに、協働による取組を進めることを通して、さまざまな人や組織の“ええとこ”をつなげていきます。

このような循環の中で、多彩な人々や個性ある教育コミュニティのつながりが更に深まり、社会総がかりで将来の大阪を担う人づくりをより一層進めることによって、「大阪はええとこや」と、みんなが誇りを持って言えるまちになるための礎を築きます。

< 25年3月改訂の計画 >

めざすべき目標像

全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うようになることをめざします。

そのために、社会が多様化し激しく変化する中で、国際化の進展や未曾有の災害の発生等を踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えるようにします。

基本となる考え方

- ・一人ひとりの子どもを、個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間としてはぐくむこと
- ・子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること
- ・教育行政においては、上記の教育が行われるよう、学校教育の円滑かつ継続的な実施のための支援、教員の能力・適性等の向上を図るための研修、家庭の教育力の向上の支援、青少年・成人に対する教育活動の振興に関する施策の推進に努めること

< 23年3月策定の計画 >

施策の基本方向

基本方向1 子どもの「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進します

- 1 確かな学力の確立
- 2 豊かな心とすこやかな体の育成
- 3 自立する基礎力の形成と個性・創造性の伸長

基本方向2 質の高い学校教育を推進します

- 4 学校力の向上
- 5 教職員の資質・能力の向上

基本方向3 社会総がかりで子どもをはぐくむ活動に取り組みます

- 6 学校・家庭・地域等の連携の推進
- 7 「大阪らしさ」を生かした教育の推進

基本方向4 「自律と協働の社会」をつくる生涯学習を推進します

- 8 「市民力」の育成
- 9 市民協働による生涯学習のまちづくり

< 25年3月改訂の計画 >

施策の体系

1 子どもの自立に必要な力の育成（カリキュラム改革、グローバル化改革関連）

- 1 学力の向上
- 2 道徳心・社会性の育成
- 3 健康・体力の保持増進
- 4 幼児教育の充実
- 5 特別支援教育の充実

2 学校教育の質の向上（マネジメント改革関連）

- 1 学校の活性化
- 2 教職員の資質・能力の向上

3 市民が協働する仕組みづくりと生涯学習の支援（ガバナンス改革、学校サポート改革関連）

- 1 学校・家庭・地域の連携の推進
- 2 生涯学習の推進